

# 一般社団法人 企業アクセシビリティ・コンソーシアム（ACE）

- ACEのご紹介
- ACEにおける障害学生の就職に関する取組
- 企業側の立場から大学における障害学生支援に期待すること

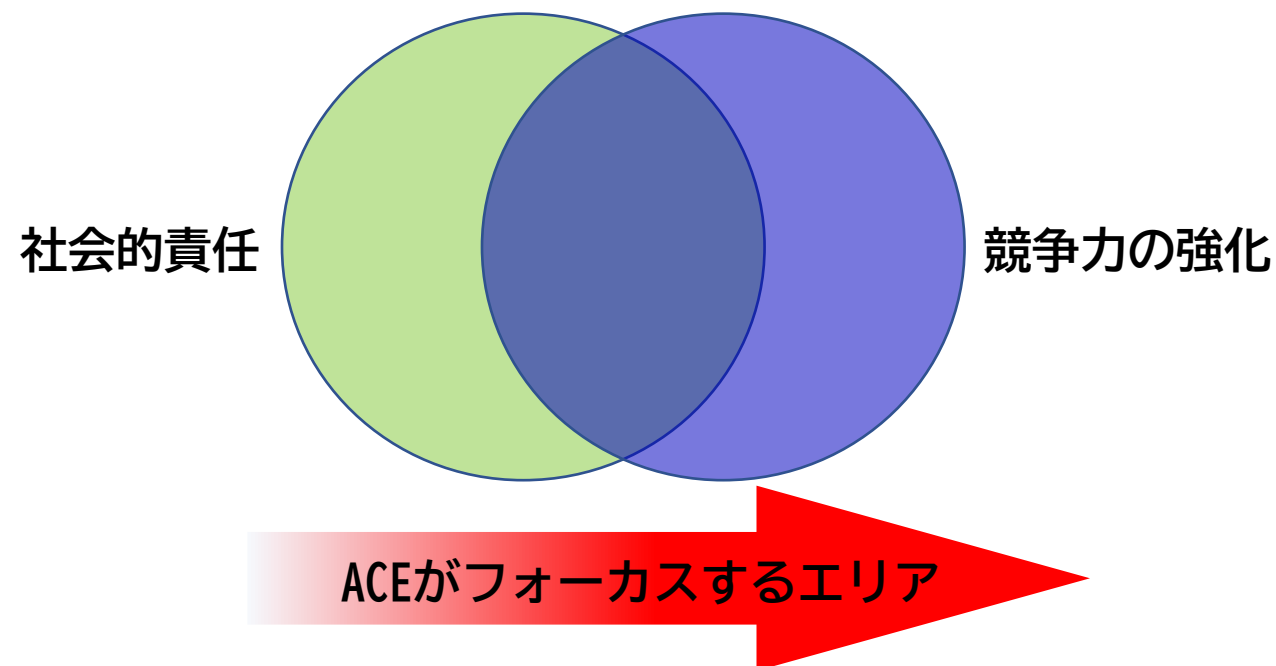
## はじめに

一般社団法人企業アクセシビリティ・コンソーシアム（以下：ACE）は会員企業の有志活動であり、ACEの活動はそれぞれの会員企業における障害者採用・雇用・定着支援・活躍推進活動等の一側面です。会員企業ならびに世の中の障害者雇用のあり方を定義または限定するものではありません。

## ACE立ち上げの経緯

はじめは、2010年～2014年にかけて日本IBMホームステッドに有志企業のトップが集まり、「天城アクセシビリティ会議」を開催

企業側から積極的に障害者が活躍できる環境を作っていけば、障害者雇用は「社会的責任」から「企業の競争力強化」に変化するのではないか  
→「誰もが能力を発揮することのできるインクルーシブな社会」の実現に向けて



## ACEの理念 活動目的

企業の成長に資する、新たな障がい者雇用のモデルを社会とともに確立する

当法人は、障がいというダイバーシティを活かした新たな価値の創造と企業風土の変革、そしてインクルーシブな社会の実現を目指し、企業の成長に資する新たな障がい者雇用モデルの確立と、企業の求める人材の社会に対する発信を目的とする。

(定款 第3条 目的より)



# ACE憲章

## ～誰もがチャレンジできる、インクルーシブな就労～

企業の成長に、そして社会の発展に資する、真にインクルーシブな環境を実現するため、  
私たちはダイバーシティを尊重し、新しい障がい者雇用のモデルを提唱します

- 障がいのある社員が制約を機会に変え、イノベーションを創出する支援をします  
*Provide vital support to PwD employees in their effort to turn constraints into opportunities to ignite innovation*
- 雇用に関わるすべての人の意識を変革し、障がいのある社員の本質的な  
労働統合を目指します  
*Transform mindsets of all those involved in employment and aim at fundamental workforce integration with PwD employees*
- 障がいのある社員の個が持つ強みを活かし、自らの意思で挑戦をできる環境を構築します  
*Help PwD employees build on individual strengths and develop environment where they can challenge at their own will*

# 第11期（2023年9月現在） 会員企業：39社

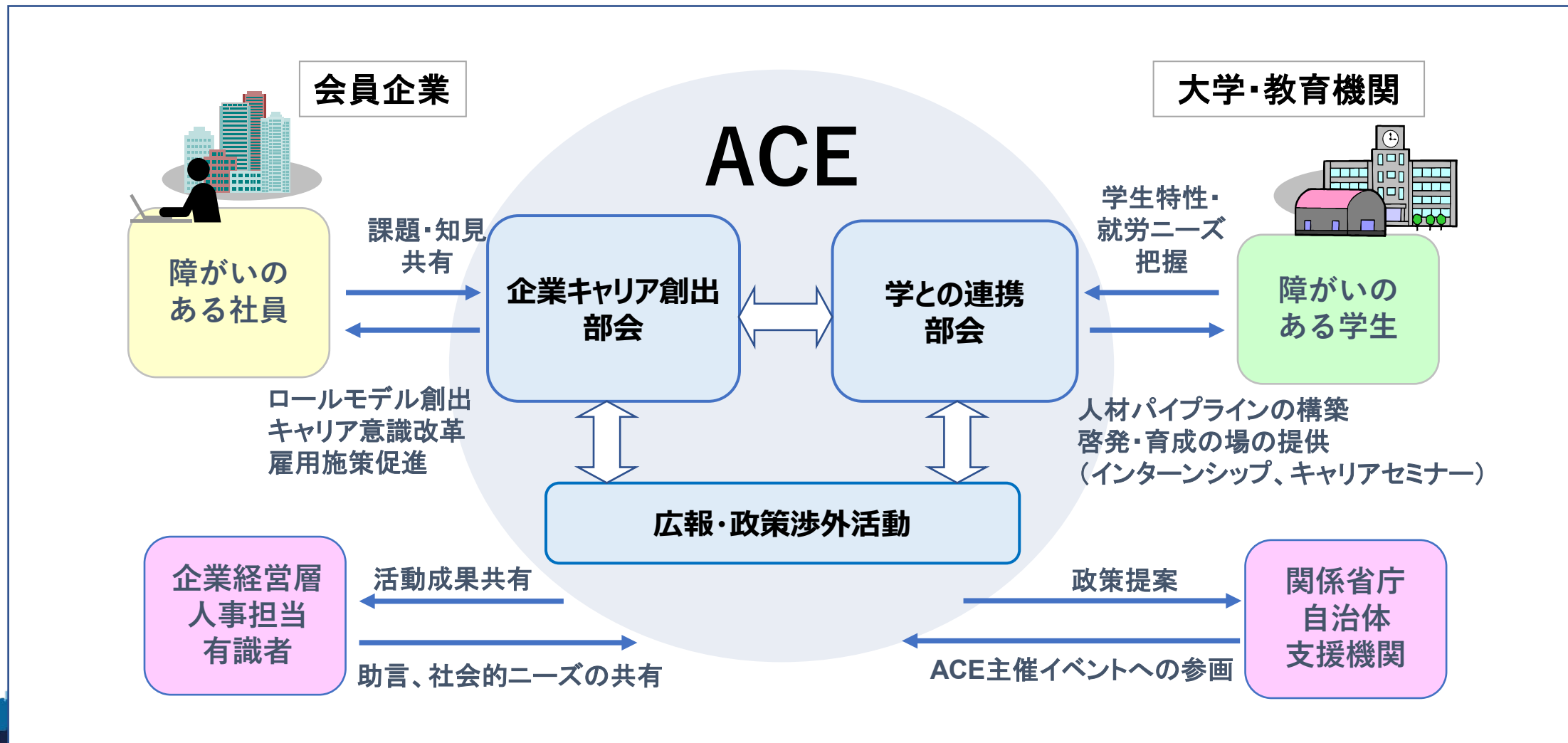
- 株式会社 I H I
- アサヒビール株式会社
- 味の素株式会社
- アステラス製薬株式会社
- 株式会社イトーキ
- EY Japan株式会社
- キヤノンマーケティングジャパン株式会社
- K D D I 株式会社
- 協和キリン株式会社
- 株式会社JT B
- シナネンホールディングス株式会社
- 清水建設株式会社
- 株式会社SBI新生銀行
- 積水ハウス株式会社
- セコム株式会社
- 株式会社セールスフォース・ジャパン
- 損害保険ジャパン株式会社
- 株式会社大和証券グループ本社
- 中外製薬株式会社
- dentsu Japan

- TDK株式会社
- TOTO株式会社
- 凸版印刷株式会社
- 株式会社ニチレイフーズ
- 日産自動車株式会社
- 日本アイ・ビー・エム株式会社
- 日本航空株式会社
- 日本通運株式会社
- 日本電信電話株式会社
- パナソニック ホールディングス株式会社
- 株式会社パレスホテル
- 富士フイルムビジネスイノベーション株式会社
- 株式会社ブリヂストン
- ブルームバーグL.P.
- 株式会社堀場製作所
- 株式会社みずほフィナンシャルグループ
- ヤマト運輸株式会社
- 株式会社LIXIL
- 株式会社りそなホールディングス



# ACEの事業活動

ACEでは、障がい者雇用に関する企業現場の課題に加え、高等教育機関等における就労準備構造的な課題にも取り組むために、2つの事業部会が連携して活動しています





ACE定例会

---

2か月に1回ペースでの会員企業全体の定例会  
各種ACE活動についての議論や、勉強会・情報交換等を実施





# ACEフォーラム

ACEの1年の活動報告、活躍モデル表彰（後述）、基調講演等  
2023年は12月6日東京（オンライン有）開催



Accessibility Consortium



KDDI株式会社

あはら つよし

三原 毅さん

コンシューマ営業本部 KDDIプリード出向  
au NAGOYA運営室 課長補佐  
1995年10月入社・在籍19年 聴覚障がい

KDDIの直営ショップ「au NAGOYA」に勤務する三原毅さんは、聴覚に障がいを持っています。

三原さんは、「聞こえないお客さまにauのサービスを様々な方法で伝えたい」と、社内公募によって、事務職から現在の職種に異動。手話を使って接客をする窓口サービスは、三原さんの発案によって、生まれました。また、地方の聞こえないお客さまにも対応ができるようにと、ビデオ通話を利用した遠隔手話サポートも開始しました。

「au NAGOYA」に異動してから1年半の間に、三原さんは、多くの固定客を獲得。その後、3人の聴覚障がいを持つ社員が、富宮店へ異動・採用となるなど、三原さんは、KDDIの障がい者キャリア開発にとって、欠かすことのできない存在となっています。

三原さんは、聞こえないお客さまの心の叫びをうまうま引き出して、丁寧に案内するだけでなく、社内にも共有化して多くの社員に気づかせるように取り組んでいます。そして、出会ったお客様、社員、取引先などコミュニケーションを通して絆を大事にするようにしています。



一般社団法人 企業アクセシビリティ・コンソーシアム  
Accessibility Consortium of Enterprises

## 第2回 ACEフォーラム 2014 ACEアワード 活躍事例紹介

2014年11月19日(水)



# ACEアワード/活躍事例紹介

毎年開催のACEフォーラムの場にて  
活躍モデル（個人・組織）を表彰し、事例紹介を実施

## ミッションとバリュー

大学と企業間の人材パイプラインを構築し、  
大学との協働を通じて、障がい者大学生を  
企業で活躍する人材に啓発・育成する。



# 2023「キャリアセミナー & 企業別相談会」 「第5回学部会懇談会」

ストレングスファインダー  
受検

診断による「自身の強み」を把握。  
後に続くコンテンツに活かす自己理解のきっかけを得る。

キャリアセミナー  
オンライン開催  
9月6日(水)

○全体セッション  
・仕事理解・ストレングスファインダー解説  
・先輩社員スピーチ  
○先輩社員・人事担当者との座談会

企業別オリジナルプロ  
グラム/相談会  
ACE会員企業各社にて  
随時(8月~9月)

体験型インターンシップ~ライトに参加できる相談会(面談)  
幅広いコンテンツをACE各社が実施。  
早期の社会接点の機会創出、就労に向けての道筋をサポート

学部会懇談会  
6月15日(水)  
※大学関係者向け

学生向けコンテンツの参加者募集に伴い、各大学の教職員と  
ACE会員企業での懇談会を実施  
ACE活動への理解を促進しつつ、各大学の課題や意見を交換



2013年に民間企業が合同で設立した社団法人

目的  
障がいというダイバーシティを活かした新たな価値創造と企業風土の変革、そしてインクルーシブな社会実現を目指し、企業の成長に資する新たな障がい者雇用モデルの確立と、企業の求める人材の発信。

コンプライアンスへの対応 → 企業の社会的責任(CSR)への対応 → 企業の成長に資するインクルーシブな社会の実現

## 障害のある学生向けキャリアセミナー

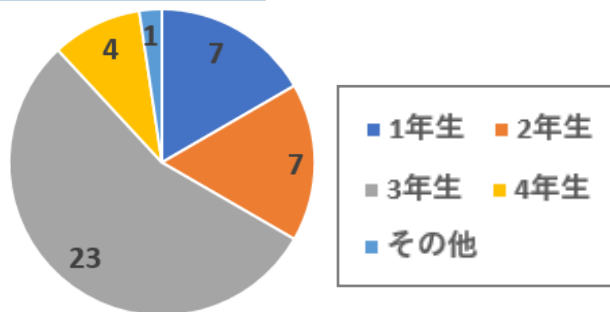
- ① ストレngthファインダー：自身の特性や可能性にポジティブな関心を高める
- ② 就業理解：企業別オリジナルプログラム/相談会 との相乗効果を狙う
- ③ 自己理解：先輩社員や人事担当者、学生同士の交流を通じ理解を深める

# < 2023年度参加状況（予定） >

## ※参加学生（地域別）

地域	大学数	参加人数
関西	10	23
関東	8	14
九州	3	3
中部	1	1
その他	1	1
<b>合計</b>	<b>23</b>	<b>42</b>

## ※参加学生（学年別）



## ※参加企業

プログラム	提供企業
WEB参加型 オリジナルPG	凸版印刷、salesforce、IBM、JTB グループ、積水ハウス
WEB参加型 企業相談会	セコム、日本航空、凸版印刷、シ ナネンHD、清水建設、LIXIL、 TOTO、アサヒビール、
企業訪問型(対 面型) オリジナルPG	セコム、清水建設、LIXIL、 dentsu japan、TOTO、 Bloomberg L.P.、堀場製作所

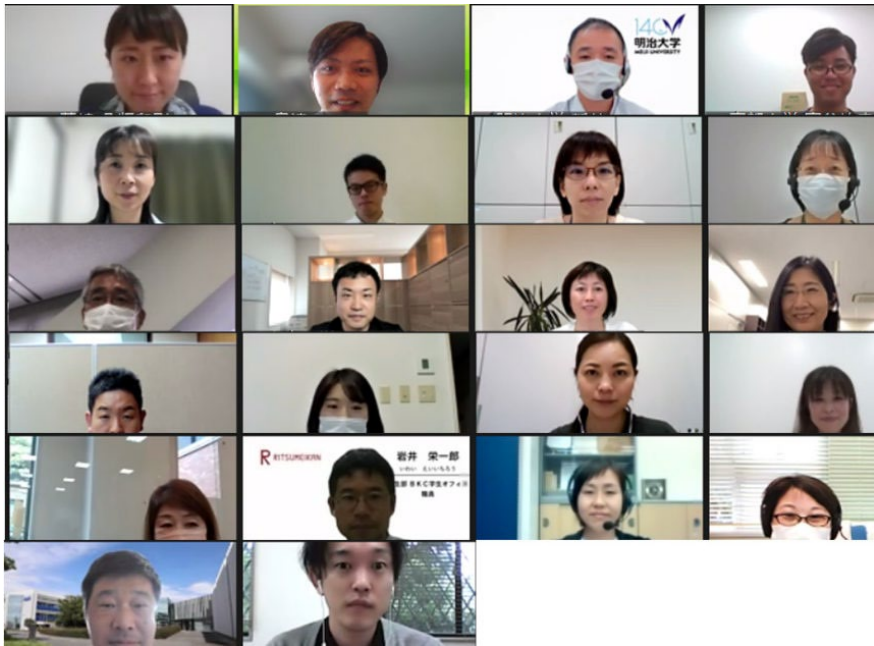


## 企業別オリジナルプログラム/相談会（インターンシップ）

- ・夏季休暇期間中（7/31～9/8）で「障害のある学生向けキャリアセミナー」と合同開催。
- ・WEB参加型および企業訪問型（対面型）での開催。
- ・各々の企業が創意工夫しプログラムを提供。（複数企業への参加可能）  
例）学生と企業担当者間の相談会、先輩社員も交えた座談会、事業所見学、グループワーク

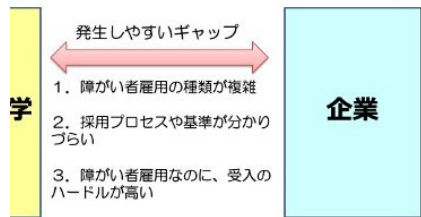
### < 2023年度参加状況（予定） >

- ・企業数：15
- ・プログラム数：23
- ・参加数：（大学）23校 （学生）実数42名/延べ170名



企業の相互理解に向けて

業に向けて、学生/大学と企業の間で発生しやすい、3つの点を当てる。



Copyright en+courage Co., LTD. All Rights Reserved



## 学との連携部会懇談会

- ・各大学関係者とACE会員企業のコミュニケーションの場を提供。
- ・2020年から開始し、これまで全5回を不定期開催。
- ・各回10名～20数名程度の大学関係者とACE会員企業担当者が参加。
- ・企業と大学、大学同士のフリーディスカッションを基軸に、特定の大学の取り組み紹介や、支援事業者も交えての勉強会等も実施。
- ・各大学での課題や取り組みの情報交換や、企業の採用活動・障がい者雇用のリアルな声を知る場として継続のリクエストも多く、好評な取組。

# 企業側の立場から 大学における障害学生支援に期待すること

☑地域の企業や支援機関と連携して、学生に対する実践的な社会移行準備機会を創出、ならびに企業での就業に関する情報を収集・整理していくこと

→どんな就業の形態や業務の内容、合理的配慮の事例があるかという情報を学生が得る手段を、企業を含めた社会資源・プラットフォームと協力して大学内外問わず作ってほしい。



# 企業側の立場から 大学における障害学生支援に期待すること

## ☑就労に向けた準備、サポート体制の強化

- ・ 障害についての受容プロセス、開示有無の選択サポート
- ・ 合理的配慮の説明スキル

→ ××できない、××が苦手の列挙でなく、  
△△という特性があり□□という工夫をすれば○○ということができる  
というようなまとめ方

それに加え、学生の希望や特性（強み）を言語化し、何にチャレンジしたいかを学生自身が企業に伝えられることが大切（とくに未経験新卒の場合）

→ 企業は得られた情報を業務のアサインや合理的配慮の検討に活用する。

# 企業側の立場から 大学における障害学生支援に期待すること

- ☑様々な就業形態の選択肢（バリエーション）についての理解促進
  - ・一般的な職場へのインクルージョン、間接部門等への集約、特例子会社、そして福祉就労。障害者雇用枠か否か、雇用形態等についての考え方
- 重要なのは、「企業によってバラバラである」という現状と前提。
- 各企業に直接接触するまでわからないため、個別的な情報の流通手段をつくる。

# 企業側の立場から 大学における障害学生支援に期待すること

- ☑支援事業所や各支援機関との連携強化  
→地域の企業の情報は、地域の事業所がもっている。
  
- ☑学生の修学～就労まで一貫しての相談先、シームレスな情報連携
  - ・大学全体で、修学支援だけでなく、それぞれの特性に合わせた就労支援までシームレスつながることが望ましい。→修学時の合理的配慮やサポートのノウハウは、企業での就労にも大いに活用することができる。
  
- ☑障害のある学生が、学内の支援や外部の支援（ACE等含む）に広く繋がりが、社会移行の前に支援の手ができるだけ多くなっている状態に。